



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各 位

2021年10月29日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2021年9月分）

◎ 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース前年並み。既存店ベースは前年同月を下回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数も下回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を下回る。

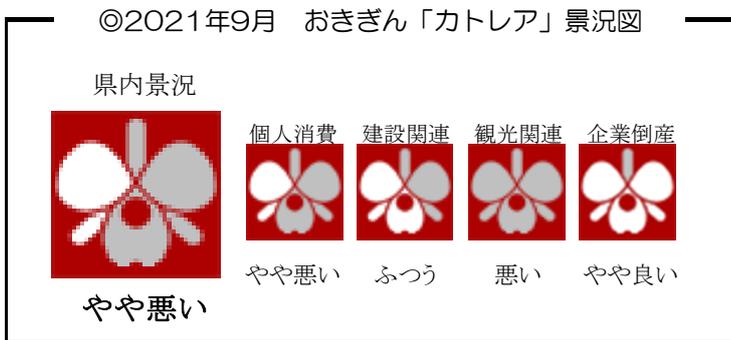
☆ 企業倒産：件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：小嶺、新垣、與那覇 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2021年9月分)



◎概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。

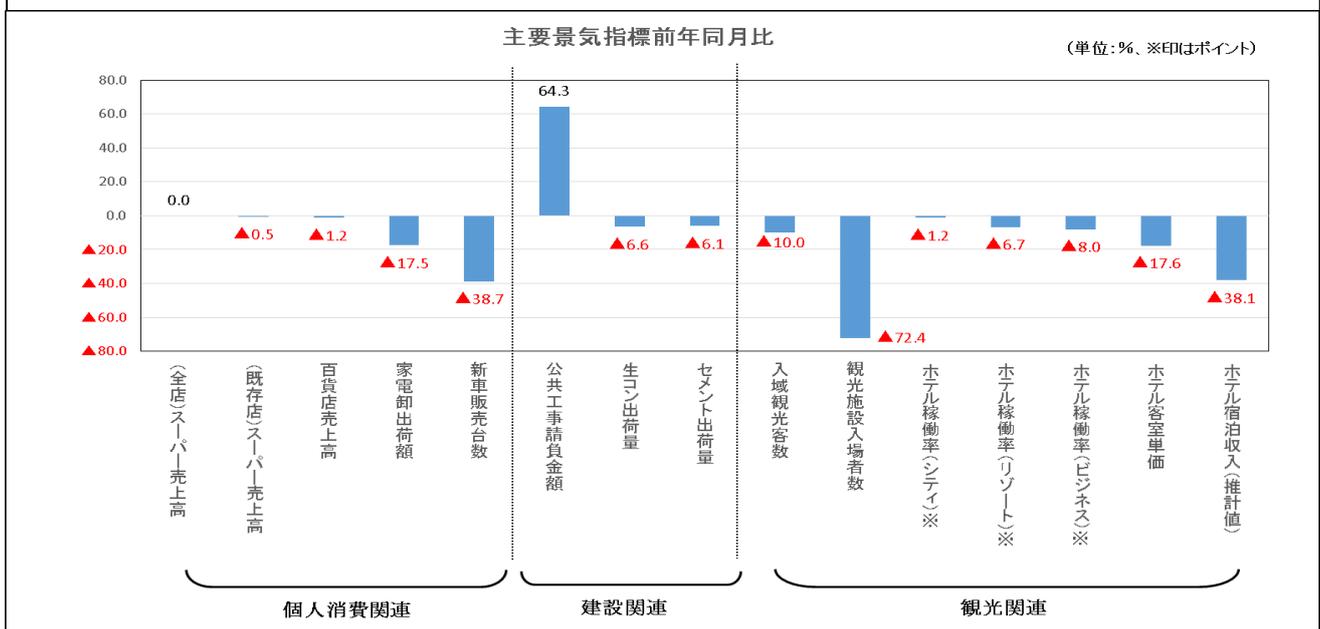
9月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベースは前年並み、既存店ベースは前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は2ヵ月連続で前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数においても緊急事態宣言継続に伴う臨時休業（休館・休園）により前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は緊急事態宣言継続に伴う休業体制や供給不足などにより弱さが見られ、建設関連は民間工事に弱い動きが続いています。観光関連は入域観光客数の減少や施設の休業・休園体制などにより、依然として厳しい状況にあることなどから、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により復調の動きが以前停滞し、厳しい状況にある」と景気判断を据え置きました。

(2021年2月の下方修正から8ヵ月連続で判断維持)



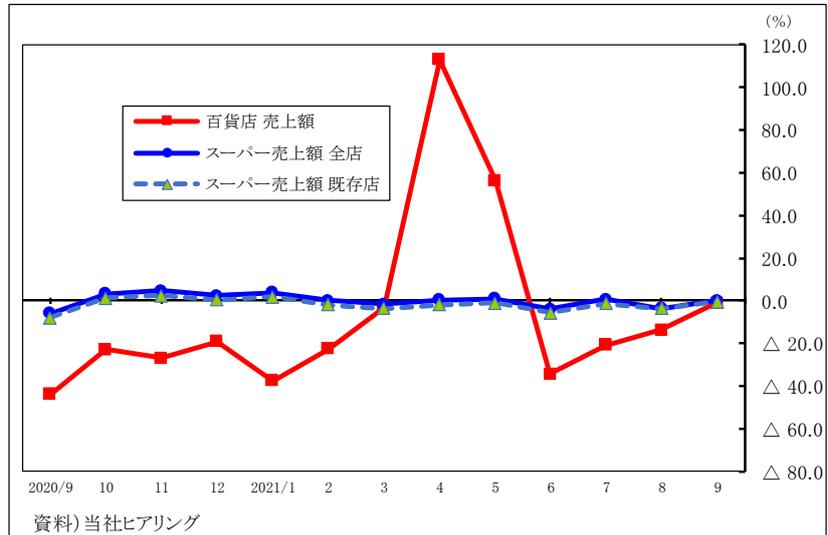


■個人消費:(やや悪い)

① スーパー売上高は、全店ベース前年並み、既存店ベースは前年同月を下回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2020/9	△ 6.1	△ 8.0	△ 44.0
10	3.3	1.1	△ 23.0
11	4.5	2.3	△ 27.0
12	2.2	0.4	△ 19.3
2021/1	3.9	1.7	△ 37.7
2	0.1	△ 2.1	△ 22.6
3	△ 1.7	△ 3.7	△ 3.5
4	0.2	△ 1.9	113.0
5	1.0	△ 1.0	56.4
6	△ 4.1	△ 5.6	△ 34.3
7	0.7	△ 1.3	△ 20.8
8	△ 3.6	△ 3.8	△ 13.7
9	0.0	△ 0.5	△ 1.2



注) 前年同月比

9月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 0.0%)」は、緊急事態宣言発出による週末休業要請により上旬は来店客数が減少したが中旬以降は回復し前年同月並みとなりました。品目別では、「衣料品(同 18.2%減)」、「家庭用品(同 0.4%減)」は、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。「食料品(同 1.9%増)」は外出自粛による巣ごもり需要の拡大により2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 0.5%減)」は、8ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 1.2%増)」は、外出自粛に伴う巣ごもり需要の拡大により前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同 19.1%減)」、家電を含む「家庭用品(同 2.6%減)」は緊急事態宣言発出による大型店舗の週末休業要請が中旬まで続いたことや、外出自粛、気候要因などにより前年同月を下回り、全体としては前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、緊急事態宣言発出による外出自粛および一部店舗の週末休業要請の影響などにより、来店客数が伸びず、4ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 1.2%減)。内訳をみると、「食料品(同 49.2%増)」は、2年ぶりに開催された物産展とそれに伴う買い回りが好調であり2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。ウェイトの高い「衣料品(同 12.4%減)」は、来店客数の減少などから「婦人服(同 5.0%減)」、「子供服(同 32.6%減)」など全般的に伸びず、4ヵ月連続で前年同月を下回りました。「雑貨(同 31.6%減)」は、緊急事態宣言発出による週末休業要請の影響などにより、4ヵ月連続で前年同月を下回りました。

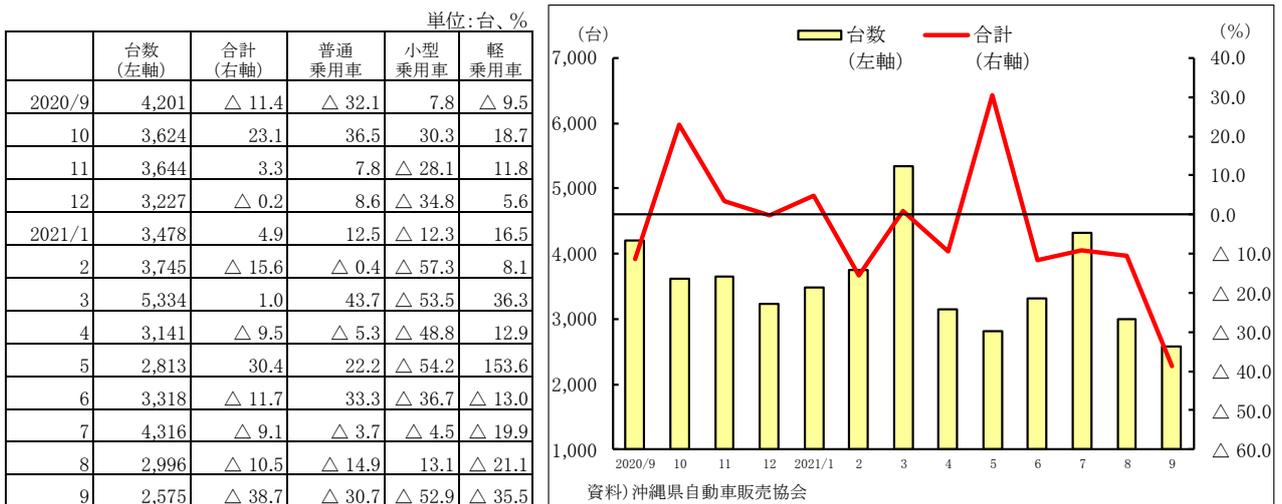
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は4ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、4ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 17.5%減)。品目別では、「洗濯機(同 31.4%増)」は、買い替え需要が増加し、前年同月を上回りました。一方、「テレビ(同 3.3%減)」、「エアコン(同 34.1%減)」、「冷蔵庫(同 14.0%減)」は、世界的な半導体不足の影響や生産を行う東南アジア工場のロックダウンによる在庫不足などから、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、4ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

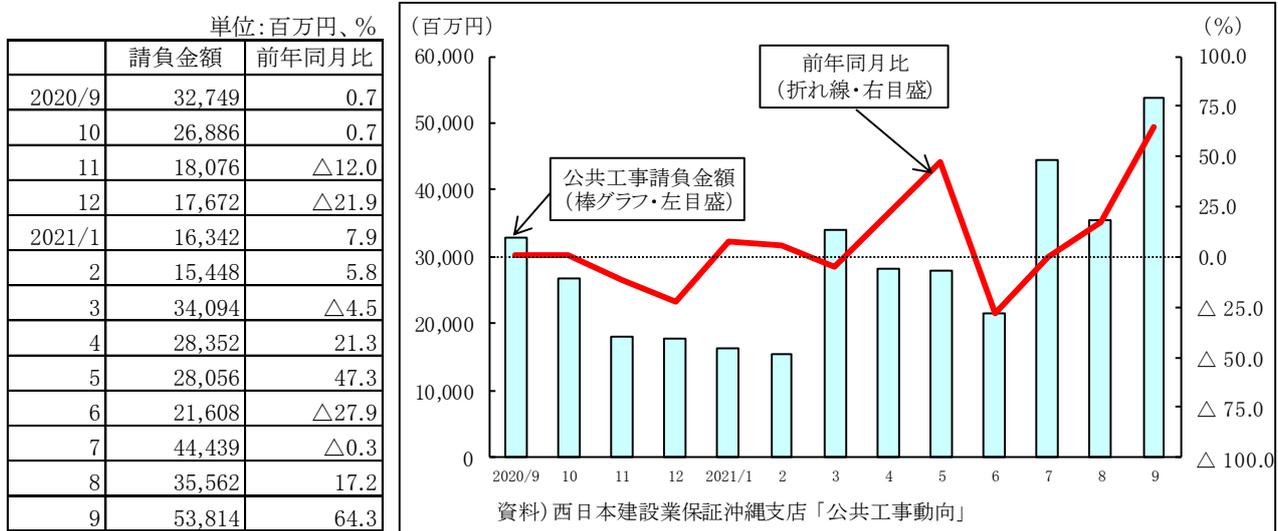
新車販売台数は、全体で 2,575 台(同 38.7%減)となり、4ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「小型乗用車(同 52.9%減)」、「普通乗用車(同 30.7%減)」、「軽乗用車(同 35.5%減)」において、世界的な半導体不足やコロナウイルスの感染拡大により東南アジアの部品工場が閉鎖となったことで生産が減少し、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

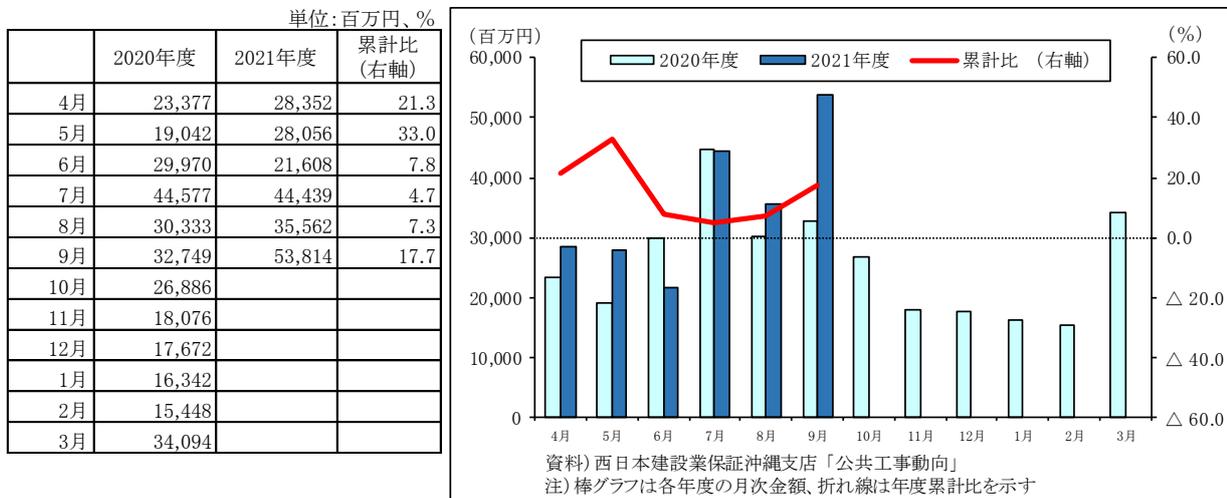


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



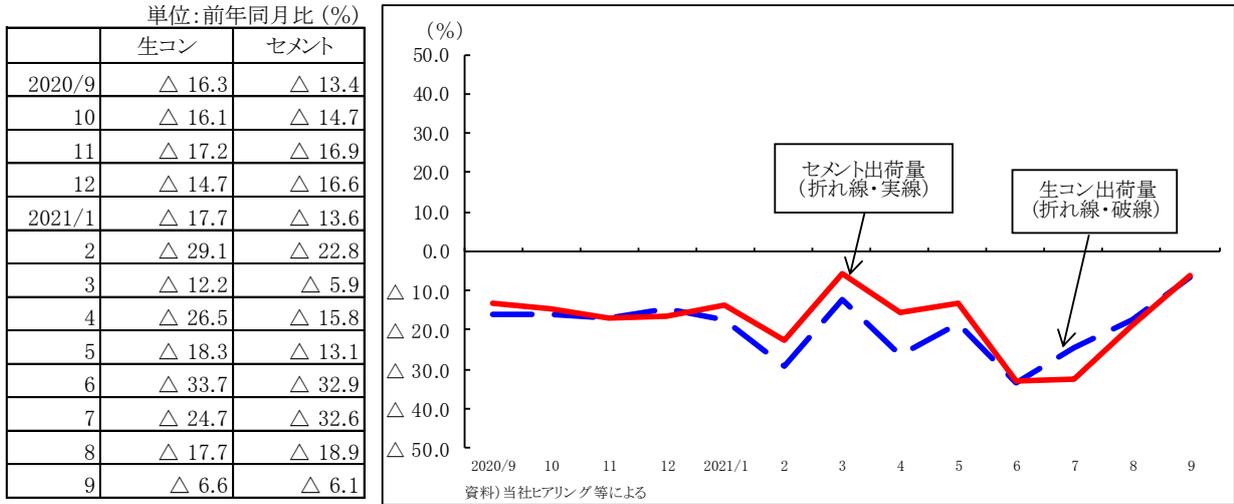
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



9月の公共工事請負金額は、前年同月比64.3%増の538億1,400万円となりました(2ヵ月連続増)。今年度累計値では17.7%増となっております。

発注者別でみると、「国(同326.7%増)」や「独立行政法人等(同約13.7倍)」、「沖縄県(同12.4%増)」、「その他の公共的団体(同50.1%増)」は前年同月を上回りました。一方、「市町村(同26.9%減)」は前年同月を下回りました。

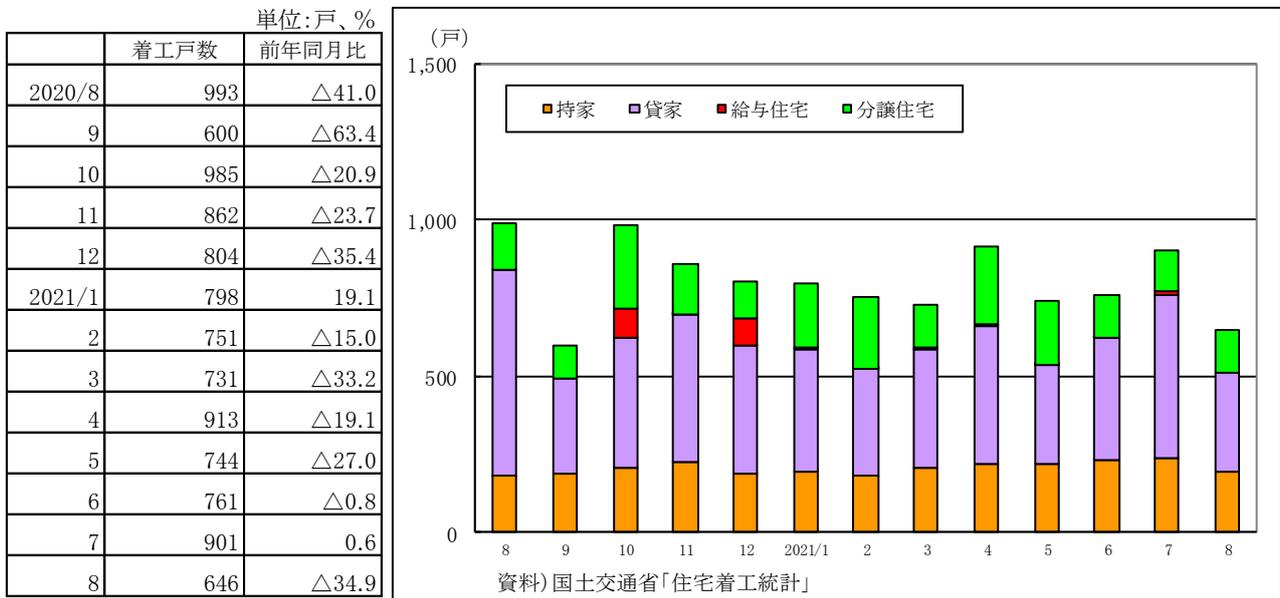
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

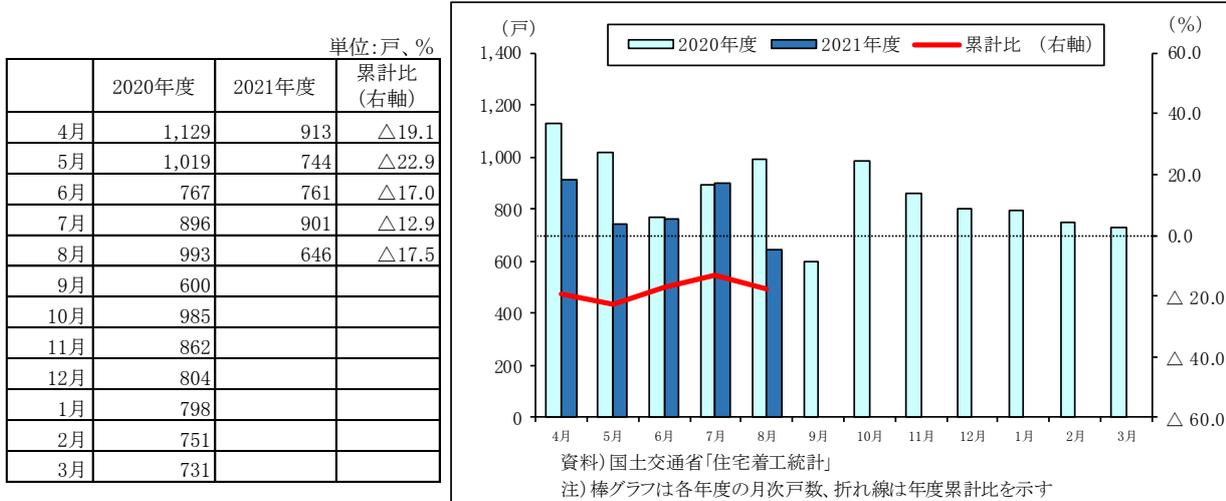
建設資材関連では、生コンの出荷量は6.6%減と20ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、防衛関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より17.5%下回り、民間工事向けは、ホテル関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より0.5%下回りました。セメント出荷量は6.1%減と15ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③【参考】住宅投資（8月）・・・着工戸数は前年同月を下回る。



8月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比34.9%減の646戸となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同51.9%減)」のほか、「分譲住宅(同13.1%減)」は前年同月を下回りました。一方、「持家(同8.3%増)」は前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。



今年度累計値では、17.5%減となっています。



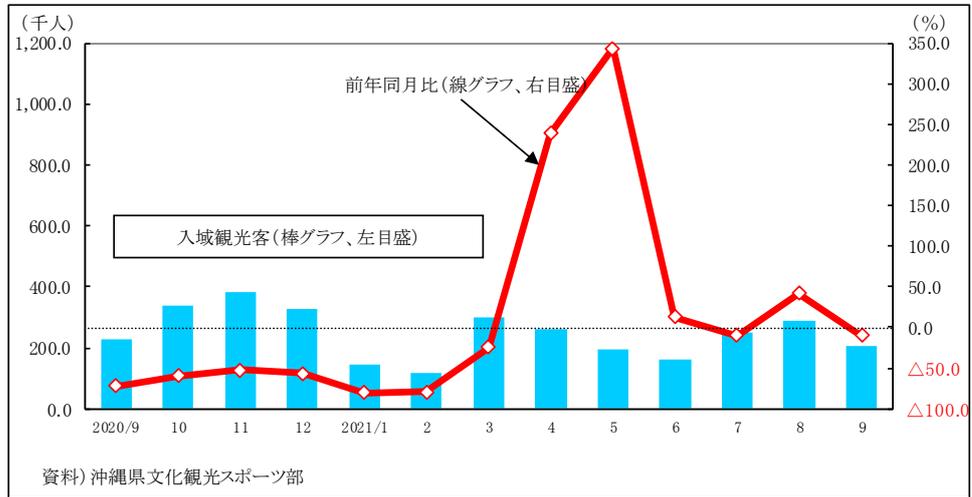
■観光関連： (悪い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を下回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/9	227.6	△ 71.9
10	341.2	△ 59.9
11	381.1	△ 52.3
12	326.2	△ 56.8
2021/1	144.0	△ 80.2
2	118.8	△ 79.9
3	299.2	△ 24.5
4	262.6	239.7
5	195.2	343.6
6	162.9	13.0
7	250.4	△ 9.7
8	288.2	42.1
9	204.9	△ 10.0

※外国客は乗務員等を含む

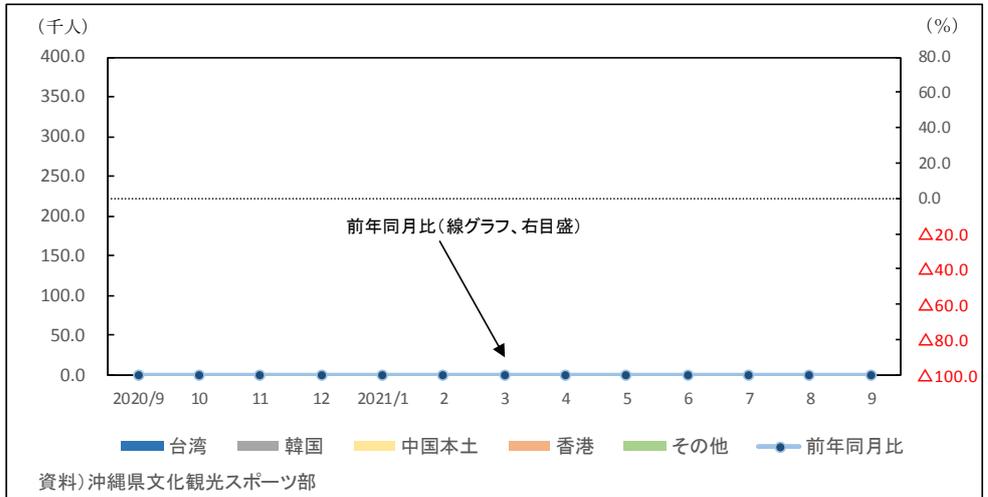


外国客 入域観光客数・・・前年同月同様、皆減。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/9	0.0	△ 100.0
10	0.0	△ 100.0
11	0.0	△ 100.0
12	0.0	△ 100.0
2021/1	0.0	△ 100.0
2	0.0	△ 100.0
3	0.0	△ 100.0
4	0.0	△ 100.0
5	0.0	△ 100.0
6	0.0	△ 100.0
7	0.0	△ 100.0
8	0.0	△ 100.0
9	0.0	△ 100.0

※外国客は乗務員等を含む



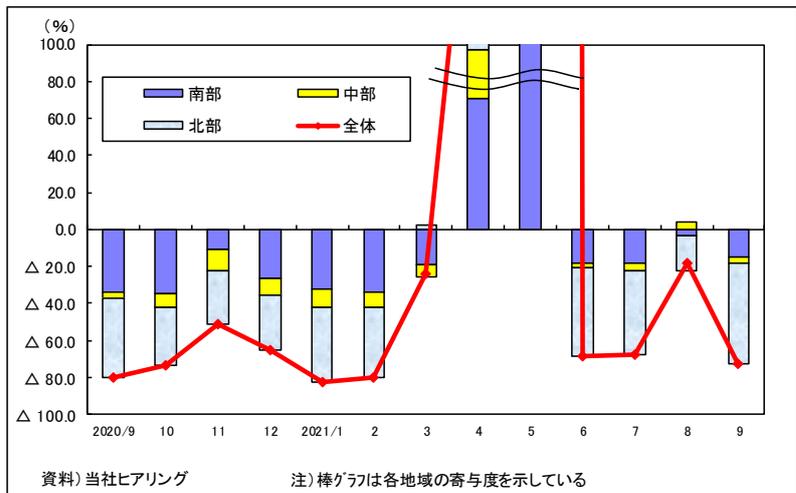
9月の入域観光客数は、22,700人少ない204,900人(前年同月比10.0%減)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。緊急事態宣言が継続されたことや、Go To トラベル事業が一時停止されている影響などから、前年同月を下回りました。また前々年(2019年)同月比では604,400人減少(約74.7%減)と大きく下回っており、依然として厳しい状況となっています。

外国客入域観光客数は、前年同月同様、皆減となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置が継続しており、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。

②観光施設入場者数・・・4ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2020/9	△ 80.3	△ 86.8	△ 73.2	△ 76.4
10	△ 73.5	△ 81.8	△ 75.7	△ 65.9
11	△ 50.7	△ 38.1	△ 70.2	△ 51.7
12	△ 65.4	△ 70.0	△ 65.5	△ 61.9
2021/1	△ 82.3	△ 87.8	△ 77.1	△ 79.6
2	△ 80.3	△ 91.1	△ 81.7	△ 72.5
3	△ 23.6	△ 46.0	△ 44.3	5.2
4	247.0	208.7	242.5	271.5
5	17,071.0	22,466.4	5,377.9	25,429.4
6	△ 68.8	△ 70.6	△ 47.7	△ 69.6
7	△ 67.5	△ 65.3	△ 64.9	△ 68.7
8	△ 18.4	△ 9.0	76.8	△ 35.2
9	△ 72.4	△ 56.8	△ 56.9	△ 79.8



※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

観光施設入場者数は、全体では72.4%減となり、4ヵ月連続で前年同月を下回りました。緊急事態宣言継続(前年同月においては5日に緊急事態宣言解除)に伴う臨時休業(休館・休園)などから、前年同月を下回りました。地域別にみると、南部の観光施設は56.8%減、中部は56.9%減、北部は79.8%減となりました。

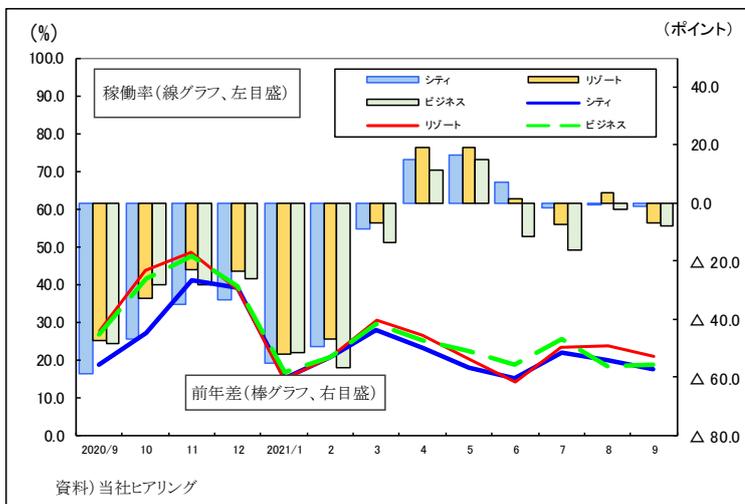
(参考)前々年(2019年)比では、全体で94.2%の減少となります。内訳では南部にある観光施設は94.6%減少、中部は88.4%減少、北部は95.2%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を下回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2020/9	18.8	27.5	26.7	△ 58.7	△ 47.5	△ 48.6
10	27.0	43.7	41.6	△ 46.6	△ 32.7	△ 28.4
11	41.2	48.3	47.4	△ 35.1	△ 23.1	△ 28.2
12	38.9	38.5	39.5	△ 33.2	△ 23.3	△ 25.9
2021/1	15.1	14.9	16.7	△ 55.1	△ 51.9	△ 51.4
2	20.9	20.4	20.9	△ 49.4	△ 46.7	△ 56.7
3	27.8	30.3	29.4	△ 9.2	△ 7.0	△ 13.8
4	23.0	26.4	25.0	14.7	19.3	11.1
5	17.9	20.3	22.3	16.6	18.9	14.7
6	15.3	14.1	18.9	7.2	1.3	△ 11.5
7	22.1	23.2	25.3	△ 1.8	△ 7.3	△ 16.4
8	19.8	23.8	18.3	△ 0.2	3.5	△ 2.4
9	17.6	20.8	18.7	△ 1.2	△ 6.7	△ 8.0

注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。



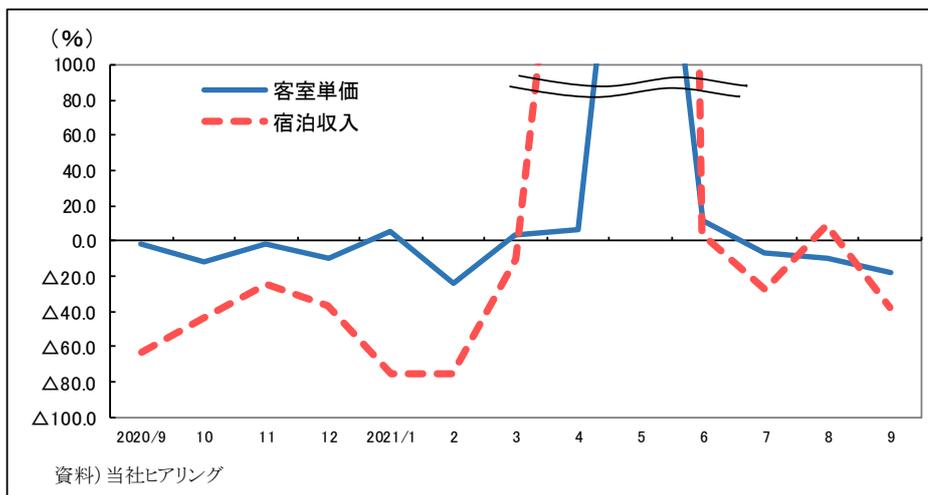
県内ホテル稼働率は、緊急事態宣言継続(前年同月においては5日に緊急事態宣言解除)に伴う入域観光客数減少などにより、シティホテルは17.6%と前年同月比1.2ポイント減少、リゾートホテルは20.8%と6.7ポイント減少、ビジネスホテルは18.7%と8.0ポイント減少しました。

(参考)前々年(2019年)比では、シティホテルは59.9ポイントの減少、リゾートホテルは54.2ポイントの減少、ビジネスホテルは56.6ポイントの減少となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を下回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2020/9	△1.8	△63.2
10	△11.5	△44.3
11	△1.9	△24.4
12	△9.8	△37.2
2021/1	5.2	△75.0
2	△24.1	△75.6
3	3.5	△10.5
4	6.5	295.2
5	323.9	2,310.5
6	11.2	4.4
7	△6.6	△28.0
8	△9.9	8.9
9	△17.6	△38.1



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く
※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月より17.6%減と3ヵ月連続の減少となりました。宿泊収入においては38.1%減と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

(参考)前々年(2019年)比では、客室単価は19.1%の減少、客室収入は77.2%の減少となっています。

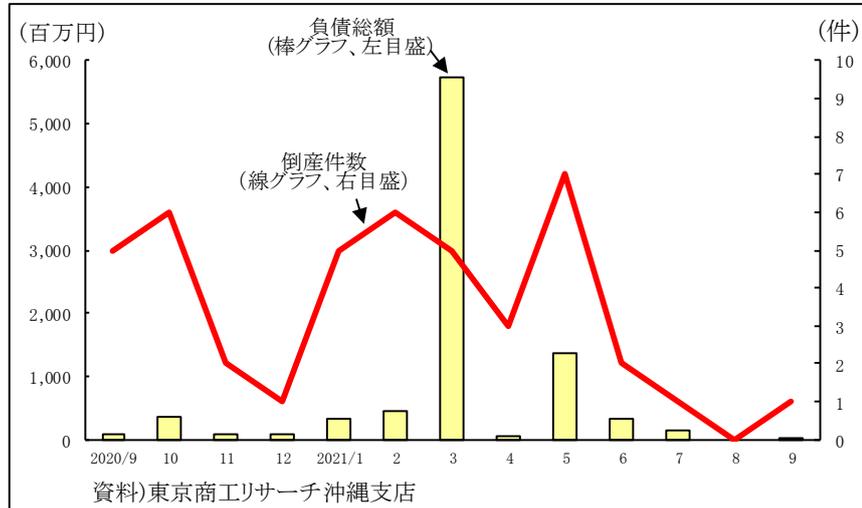


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2020/9	84	5
10	360	6
11	87	2
12	88	1
2021/1	312	5
2	454	6
3	5,753	5
4	37	3
5	1,359	7
6	337	2
7	154	1
8	0	0
9	26	1



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

9月の企業倒産件数は、1件(うち大口倒産はなし)となり、前年同月より80.0%下回りました。

負債総額は2,600万円となり、前年同月より69.0%下回りました。

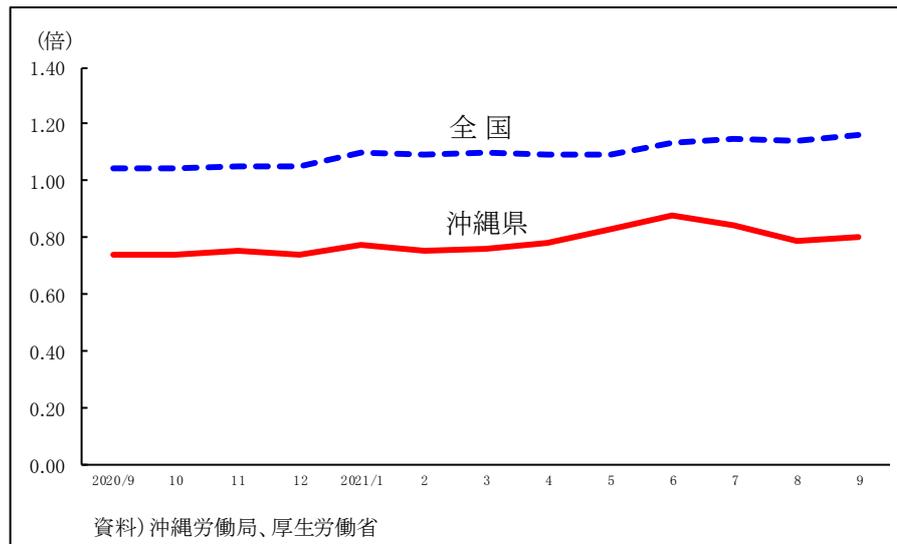


■雇用関連： (やや悪い)

①有効求人倍率・・・沖縄、全国はともに前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2020/9	0.74	1.04
10	0.74	1.04
11	0.75	1.05
12	0.74	1.05
2021/1	0.77	1.10
2	0.75	1.09
3	0.76	1.10
4	0.78	1.09
5	0.83	1.09
6	0.88	1.13
7	0.84	1.15
8	0.79	1.14
9	0.80	1.16



注) 季節調整済

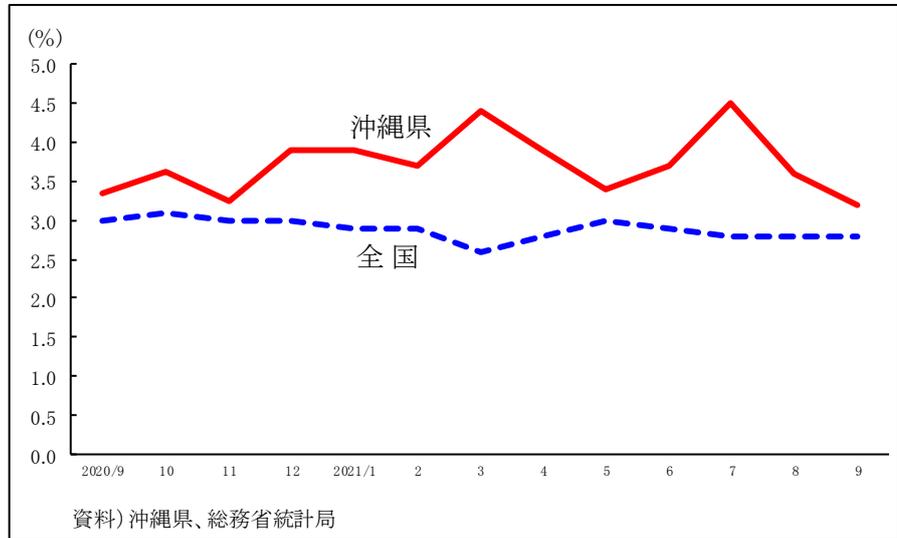
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

9月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比4.7%増の25,724人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比3.7%増の32,231人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.80倍と、前月より0.01ポイント上昇しました。

②完全失業率・・・沖縄は前月より低下、全国は同水準。

単位:%

	沖縄県	全国
2020/9	3.3	3.0
10	3.6	3.1
11	3.3	3.0
12	3.9	3.0
2021/1	3.9	2.9
2	3.7	2.9
3	4.4	2.6
4	3.9	2.8
5	3.4	3.0
6	3.7	2.9
7	4.5	2.8
8	3.6	2.8
9	3.2	2.8



注) 季節調整済

9月の完全失業率(季節調整値)は、3.2%となり前月より0.4ポイント低下しました。